

令和6年度第3回 青森市障がい者自立支援協議会 議事要旨

日時 令和6年11月13日(水) 10時～12時

場所 青森市総合福祉センター2階 大集会室

出席者

(出席委員) 中村委員、田中委員、長谷川委員、鈴木委員、越膳委員、中野委員、張間委員、柳谷委員、高橋委員、常田委員、波田野委員、狭間委員、藤川委員、野呂委員、對馬委員、長久保委員、小山田委員、前中委員(18名)

(欠席委員) 高杉委員、阿保委員(2名)

(事務局) 福祉部長、福祉部次長

障がい者支援課 山口課長、工藤主幹、渡邊主幹、斎藤主幹、
竹内主査(5名)

1 開会

2 委員紹介

3 福祉部長あいさつ

4 事務局自己紹介

5 組織会

(1) 会長の選出

委員より、中村委員を会長に推薦する提案があり、全委員による承認のもと中村委員が会長に選出された。

(2) 副会長の選出

中村会長から、田中委員を副会長に指名する提案があり、田中委員の承認を受け、田中委員が副会長に選出された。

6 事務局説明

(1) 青森市障がい者自立支援協議会の概要について

配布資料「令和6年度第3回青森市障がい者自立支援協議会資料」1～2ページについて事務局より説明

《ご意見等》

(委員) 各部会の人数に差があるが、この人数は何かで規定されているのか確認したい。

(事務局) 現状の人数でお示ししているものである。

(2) 部会の設置について

配布資料「令和6年度第3回青森市障がい者自立支援協議会資料」3ページについて事務局より説明

《ご意見等》

(委員) 今期から委員に就任しているため、これまでの部会の動きと今後の部会開催についての動き、また部会に出席した場合の報酬等の状況を確認したい。

(事務局) これまで部会は基本的に委員が中心となり、随時必要に応じて開催をしていただくということになっております。そのような関係もあり、部会開催時の報酬に関しては予算措置等を行っておりませんでした。事務局としては、会場確保や部会運営の協力等を通して、部会運営に支障がないようにしたいと考えております。

(会長) 実際に地域の実情の中で埋もれてる部分とか課題となっている部分の整理などが十分できていなかった部分も考えられるので、今後は部会の活動を充実させながら、個別課題等を集約し、協議会で検証するなど努力していきたいと考えている。

(委員) 当事者委員のかたが「みんなの未来部会」に多く所属されているが、より専門的な議論をする中でも当事者のかたに入っていただく必要はあるのかなと思う。当事者委員のかたにも「相談支援部会」「就労支援部会」「障がい児部会」に参画していただきたいと思うが、委員のかたの意見を聞きたい。

(委員) 現在の「みんなの未来部会」から移動したい気持ちは全くない。

(委員) どこに行っても勉強になるのかなと思っているので、どこの部会でもいいかなと思っている。

(委員) 現在の部会に所属してから2～3年しか入っていないので、もう少し「みんなの未来部会」で活動したいと思う。

(委員) 他の委員から意見交換の希望があれば話はするが、現在の「みんなの未来部会」から動くつもりはない。

(副会長) 支援者側だけで話をしても、当事者のかたの意向に沿わないとかがでくるので、議論される内容によって、当事者のかたの意見も聞きながらできればいいかと思う。

(会長) 部会委員の案が示されたので、各部会の組織会として各部会において協議の上、部会長を選任いただきたい。

～各部会において協議～

(会長) 協議の上、部会長が選任されたため報告する。

みんなの未来部会は高橋委員

就労支援部会の中野委員

相談支援部会は波田野委員

障がい児部会は前中委員

(3) 今年度の自立支援協議会の進め方について

配布資料「令和6年度第3回青森市障がい者自立支援協議会資料」4～6頁について事務局より説明

《ご意見等》

(委員) 今期から新任委員として参加しているが、これまで部会を協議会の中で分かれて実施しているのが時間がもったいないと感じた。それぞれ部会で話し合われたことをしっかり協議会に報告し、その上で協議会全体でその部会の内容について協議するような時間がひつようと思う。そのためにも、協議会運営を検討する場として、事務局と会長、あと部会長で構成されるような事務局会議、運営会議みたいなものを設置していただきたい。

(会長) 会長、副会長、それから部会長と事務局が入り、具体的にどう部会を発展させていくかのかなど検討する場は必要だと考える。可能であれば定期的に運営会議のような形を設置して進めていきたい。

7 各部会での協議及び各部会からの報告

【みんなの未来部会】

(委員) 初めにこれまでの協議内容の令和5年度4回行った協議内容の共有をしている。みんなの未来部会では、障がい理解とか人材育成を大きなテーマとして出前講座などをやっていけばいいのではないかと話し合いになっていた。前回の部会において、事務局の方で講座のパッケージ案を作成していたので、それをまず確認した上で、今後、実施に向けてどのようにしていくかということを全体で協議した。今後の進め方としてと、ターゲットをどこにするのか、そこのターゲットを絞らないと、具体的な話し合いができないということと、1回の講座が45分なので、当事者の方が多くいらっしゃる中で45分で果たして間に合うのかという意見が聞かれた。また、市役所ですでに実施している出前講座等の内容を把握した上で、その講座等と一緒にやっていく方法もあるのではないかと意見もあった。今後はターゲットだったり、いつ、誰が、どこでやっていくか、またその市の既存の取り組みの内容も把握しながら、今日出た案をまた具体的に煮詰めていくということになった。

【就労支援部会報告】

(委員) 前回からの流れを確認して、改めて、令和7年10月から開始する就労選択支援に向けて、就労支援部会としてどういう活動をするかという話をしていました。まずは、現在の就労移行支援A型に対して就労選択支援を実施する予定があるかどうかの意向確認を行い、その後、就労選択支援で行うアセスメント表をどういうふうにするか、どの項目が必要か、また共通理解をし、どの事業所で誰がとっても同じアセスメントになるように勉強をしていかなきゃいけないねという確認をし

た。他には就労継続支援A型がB型に変更になったり、廃止になっていることや、今後最低賃金が上がることで影響が生じるのではないかと意見を交換した。

【障がい児部会報告】

(会長) 青森圏域医療的ケア児支援体制協議の場の臨時会とし、青森県立あすなろ療育福祉センターのあり方について皆さんからご意見賜った。今後部会が出された意見を集約し、県に伝えていく方向としている。

8 その他

(委員) 協議会は全国的にも法律上明記された部分もありますし、とても注目されてる部分だと思う。傍聴するかたがあまりいないというのは、やはり周知の仕方に課題があるのかと感じている。自分たちがやっていることをしっかりと外に発信していくためにも、例えば、開催時期をできるだけもうちょっと早めに決めていただくとか、日付を決まった段階で、協議会は何日にやりますっていうものを、ホームページだけでなく、障がい福祉に関係する事業者に対して周知し、もっと注目していただきながらこの協議会をしっかりと運営していったらいいと思う。